

Show Rotary Cares
ロータリーの心を

あなたの住むところ
私たちの世界
そこに住むすべての人々に



Rotary International

1997-98 R.I. Theme



第2560地区——久保田 昭 治
ガバナー——
会 長——五十嵐 総 一
会長エレクト——細 井 増 雄
副 会 長——長谷川 有 美
幹 事——佐 野 勝 栄
副 幹 事——西 山 徳 厚
S A A——山 浦 日出夫
副 S A A——高 森 章 仁

例 会 日——毎週水曜日 12:30 ~
例会場及び——三条市旭町2-5-10
事 務 局——三条信用金庫本店
例 会 場——TEL 35-3311
事 務 局——TEL 35-3477
FAX 32-7095

本日出席会員数	79名中 47名
先々週出席率	88.31%

ヴィジター

三条南より

野崎正明さん、飯山勝義さん

三条北より

大竹保和さん

ゲ ス ト

三条市長 長谷川長二郎殿

先週のメイクアップ

1/17

一年交換学生ホストクラブ国際奉仕
委員長カウンセラー合同会議 (新潟)

萩根沢隆雄さん、菊池 渉さん

1/19 三条南へ

古沢富雄さん、榎本 勝さん、

藤田紘一さん、細井増雄さん、

石橋育於さん

1/20 三条北へ

鈴木宗資さん

幹事報告

佐野勝栄幹事

◎三条市特殊教育研究協議会より卒業、進級を祝う会のご案内がとどいております。

とき 2月27日(金)

ところ 三条市総合福祉センター
多目的ホール

細井増雄さん

今年初例会です。今年も宜しくお願いします。

小柳直人さん

すみません。早退させていただきます。

1月21日分 ¥ 22,000

今年度累計 ¥ 601,000



ニコニコBOX



五十嵐総一さん、佐野勝栄さん、渋谷健一さん、内山辰策さん、川又嘉瑞範さん、岩井数央さん、五十嵐寿一さん、三堀正純さん、小林英雄さん、菊池 涉さん、岡田正之さん、山浦日出夫さん、渋谷秀幸さん、外山雅也さん、藤田紘一さん、上木六治さん、佐藤吉平さん、近藤雄介さん

長谷川三条市長を歓迎して。

吉井俊介さん、

小正月を利用して社員旅行でハワイへ行って来ました。雪の中をおくれもせず帰って来られました。

高森章仁さん

会社の20周年事業でハワイへ行って来ました。

卓 話

三条市長 長谷川長二郎殿



明けましておめでとうございます。

伝統ある三条ロータリークラブさんからご案内をいただきありがとうございます。貴重な時間をいただきましたので、これからお話をさせていただきます。

日頃から皆様方には、市政にご支援ご協力を頂きましてありがとうございます。心から感謝申し上げます。

早速市政につきましてお話をさせていただきます。

私たち三条市の大切な教育機関であり、伝統ある県立三条高校の移転改築についてであります。現在校は、老朽化も進み、移転改築によって新しい所で、新しい構想の中で整備を進めて頂きたいと、今日も県に、平成10年度予算要望に行ってきたところであります。この移転改築につきましては、若干意見の凸凹がありますが、私たちは議会、期成同盟会の皆さんと充分にご相談とご協議をさせて頂きたいと思っております。

私たちの考えとして、三条駅の東側・嵐南土地画整理事業の中の教育ゾーンに移転改築を願いたいと思っております。三条高校は、平成14年に創立100周年ですので、これに向けて建設して頂ければありがたいということを願いながら、移転改築を進めて頂きたいと思っております。

つぎに、「三条市21世紀産業振興ビジョン」であります。平成8年度1年間を掛けまして業界の皆さん、国・県等からご指導を頂きながらビジョンを作成させて頂きました。三条市の10年・20年先をどういう考え方でどういふものを進めていったら良いかなどを中心にしたビジョンを作成しました。私たちは、これに添いましてこれからの三条市の産業が今まで先人の皆様から養ってきていただきました大切な、そして栄光ある地場産業のまち三条が「輝く三条」になるようにそれぞれの施策を進めてゆきたいと思っております。

そして、国際メタル産地のイメージアップをしたい。今までも充分力を入れてきたと思いますが、私たちの三条がまず国内に「金物のまち三条」「金属産業都市三条」として、以前からも輸出等で多くの世界と関係させて頂きましたが国際経済の時代に入ってきて、国際メタル産地としての位置付けがますます大きくなってきました。これに充分耐え得る、力強い足腰の強い産業になりたい。そして世界に向けて皆さんから認知して頂ける産業になりたい。世界の産業と言いましても、世界の方々から認めてもらわなければならない。このようなことでイメージアップも大切だと思います。

また、人材育成プロジェクトも大切であります。何をやるにも人材育成が大切です。先程の三条高校の移転改築もより良い教育環境の中で生徒の皆さんから勉強してもらいたい。こう言うことも含め考えますと地場産業にも人材育成が大切ということもビジョンにも謳われ掲げられております。

21世紀産業振興ビジョンの中でも謳われていましたが(仮称)県央ビジネスリサーチコアにつきましては、ありがたいことに平成9年度の通産省・地域集積活性化事業に指定して頂きました。今までも産業の活性化事業はありましたが、もっとも現在の日本企業、地場産業を大きく盛り上げ、本当に力強い産業になってもらいたいという国の意向で、新しい集積産業の活性化を設定して頂きました。

地域集積活性化法により、燕市と三条

市で一緒に仕事をする（仮称）県央ビジネスリサーチコアであります。

この（仮称）県央ビジネスリサーチコアの建設は、事業費約20億円そのうち通産省から約10億円の補助を頂き、残りを三条市・燕市で負担する形で進めることとなります。

現在の県央地域地場産業振興センターを起点として建設、運営をして頂きたいという形で進んでおります。

ただいま、設計コンペを進めておりますが、これからの私たちの新しい鋭気を位置付けし、新しい感覚を起こしたい。このような事を願ひまして（仮称）県央ビジネスリサーチコアの建設を進めて行きたいと思っております。

さらに今まで、県央地域地場産業振興センターに不足していましたデザイン関係機能を充実させ、デザイン開発の施設、デザインギャラリーを造り多くの方の参考になるものを練って行きたい。

また、産・学・官から今まで以上に力を頂きまして、国・県と一緒に地域地場産業との交流の広場にしたいと考えています。

さらに、国際経済情報であります。私たちの地場産業の情報は、海外に向け、今まで以上に強く大きく速く伝えたい。そして海外の情報をもっと強く大きく速く確保したい、そのためには、海外経済情報の収集や発信の機能を設け、東南アジア、アメリカ、ヨーロッパ等海外の方から駐在してもらい私たちに地場産業に役立つ情報をもらったり、その方

たちを通じて情報を伝える機能も必要と思っております。

そんな中で、重点プロジェクトとして、新技術・新商品開発の強化を行い、新しい技術、新しい産業、新しい物の考え方を私たちの地場産業に加えて行きたいと考えています。

さらに、県の起業化センターですが、これは、今までなかった企業、もっと新しい発想をもった人たちなどから仕事をしてもらいたいという考えで設置、誘致も計画しております。

起業化センターは、（仮称）県央ビジネスリサーチコアの同じ建物の中で仕事をしてもらいたいと思っております。

今月いっぱい設計コンペの結果を出し、3月までに実施設計をし、平成10年度に着工、出来れば年度内で施設を造りたい。そして、三条、燕に大きくプラスになってもらいたい。

つぎに、工業、流通そして食品団地の整備推進があります。本市の工業団地は、約30年前に金子新田の工業団地、約20年前に塚野目の金属工業団地、約10年前に大島の工業団地等を造成、分譲してきたところです。団地の造成が遅かったり、小さかったりと業界の皆さんにはご迷惑をかけてまいりましたし、三条で育った企業が市外に流出されたりして、大変申し訳なく思います。企業の皆さんの「私たちは、三条で育った企業ですから、出来れば三条市で商売をやりたい、三条市と一緒に伸びて行きたい、反映して行きたい」という気持ちを大切に、

土地政策をもっともっと大きく進めていくことが、現在の三条市に課せられたことであろうと思っております。今後は、産業振興ビジョンで謳われている工業流通食品等の団地を造りたい。

私が平成7年市長に就任させて頂き、内山前市長が手掛けておられた保内・井栗の工業団地を少しでも早くと思い、農振除外から始まりましたがなかなか進まなく、少しでも早く造成、分譲したいと思っておりました。

当初の団地プランは、細長い形で、農振除外が難しいのではないかという話があり、どうしたら許可になるかを関係機関と協議させて頂き、規模を少し縮小して地元の協力の下で保内・井栗の工業団地約10ヘクタールを造成中であり。平成9年度中に造成を終わり、早い時期に企業の皆さんに渡せるよう進めております。

企業の皆さんの立場であります。団地は、全部造成、完成してから渡すことが建前だと思います。しかし、企業の皆さんが少しでも早く土地利用の計画が出来る、あるいは、建物の計画が出来るようにと、造成が全部終わらなくても企業の皆さんと仮契約をして渡せるよう進めております。

まだまだ三条市には、工業団地の要望があり、現在の金子新田の工業団地を拡張する計画があります。業界の皆さんからは、工業団地があちこちにあるという話があり、それらを考慮して、現在ある工業団地に隣接して建設

するものひとつの方法だろうと考えます。そして30年前に出来た工場の方々が新しいところにきて仕事のしやすい工場に作り変えるという考えもあるだろうと思ひ、現在の団地に隣接する約38ヘクタール、約10万坪の工業団地を計画して話を進めております。

次に、越後中央環状線構想であります。今までの努力が実りまして、弥彦線高架が昨年9月に完成し、市長室からよく見えます。すばらしい光景で東京へ行ったような感じです。弥彦線高架は、大事業であり、17か所あった踏切がなくなりました。これからは物の移動は自動車、人の移動はJRを活用することがもっと多くなるだろうと思ひます。たとえば新幹線駅に行くには、自動車に乗っていきますが、現在では、交通渋滞に加えて駐車場に入れないという状態です。

JR弥彦線は、1時間に1本で主に通勤・通学に利用しており、一般には、利用しにくい。電車が15分・20分に1本あるくらいなら時計をみなくても駅に行けばすぐに電車に乗れるような便利なJRになってもらいたい。現在、新潟から内野、新潟から新津の間は、約20分に1本走っています。新津から加茂へ、そして東三条から弥彦線で燕・吉田を経て、越後線から巻・内野・新潟への環状、この環状線を東京の山手線のようにしたいというものが越後中央環状線構想です。昨年、沿線市町村長さんから集まってもらい、これからお互いに協力して利用しやすいJRにし、地域の発展、或いは、市民の

利便さの向上を図りたいと話しました。参考値ですが、山手線は、1周34.5km、約60分かかり、越後中央環状線は、1周約86.6km、約120分くらいかかり、駅は、30という新しいJRの活用を考えております。

次に、米の生産調整についてです。最近の日本人は米を食べるのが少なくなってきました。以前は、一人あたり2.5俵位食べました。現在は約1.08俵位です。また、去年は、豊作で米の値下がりが起きてきました。この様なことからもっと生産調整をしていかなければならない状況にあるようです。

県から三条市は、30.5%の生産調整をしてくださいということであります。農家の皆さんは大変だろうと思います。こ

れも米の自給、或いは、これからの農業経営、米の値段等を考えるとやむを得ない事と思い、お願いをしております。

これから産業も農業も大切です。これらの悩みを少しでも排除し、活気ある三条市の創造を考えています。今後とも皆様方から充分なご指導、ご協力を頂きたいと思えます。

大切な時間を頂き、取り留めのない話をさせて頂きました。私たちも一生懸命頑張りますので「元気印の三条を造ろう」ということで皆様方のご支援を頂きたいと思えます。そして、三条ロータリークラブ様のますますの発展を祈念しまして話を終わらせて頂きます。ありがとうございました。

例会案内

三条RC 2月4日例会 卓話 川瀬国雄会員

2月11日例会 休会

メイクアップをどうぞ

三条南RC 2月2日例会 会員卓話

2月9日例会 会員卓話

三条北RC 2月3日例会 会員卓話

2月10日例会 外部卓話 岩崎扶佐様

加茂RC 2月5日例会 会員卓話

2月12日例会 会員卓話

燕RC 2月5日例会 クラブフォーラム

2月12日例会 会員卓話

見附RC 2月5日例会 会員卓話

2月12日例会 会員卓話
